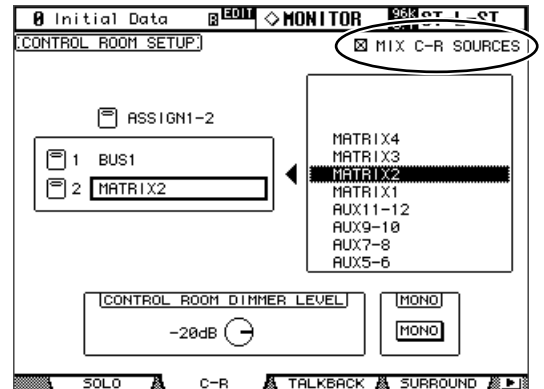


DM2000 V2.1 追補マニュアル

DM2000 システムソフトウェア V2.1 では、V2.0 から以下の変更がございます。

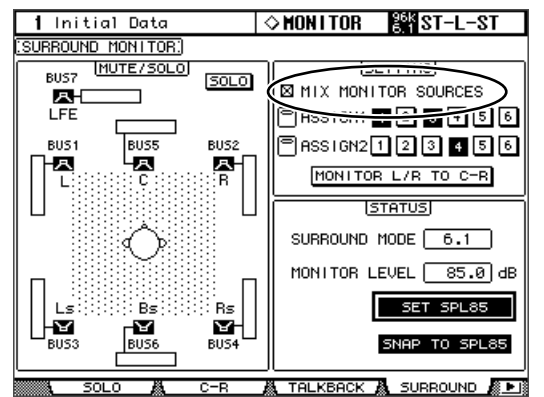
- コントロールルームモニターに MIX C-R SOURCES パラメーターを追加 (160 ページ)

CONTROL ROOM SETUP ページに、「MIX C-R SOURCES」パラメーターが追加されました。V2.0 ではモニターソースに 2TR D1、D2、D3、A1、A2 のどれか一つと、その他 (STEREO、ASSIGN1、ASSIGN2) を同時に選択できましたが、このパラメーターをオフにすると同時には選択できなくなります。



- サラウンドモニターに MIX MONITOR SOURCES パラメーターを追加 (161 ページ)

SURROUND MONITOR ページに、「MIX MONITOR SOURCES」パラメーターが追加されました。V2.0 ではモニターソースに BUS と同時に ASSIGN1 または ASSIGN2 を選択できましたが、このパラメーターをオフにすると同時には選択できなくなります。



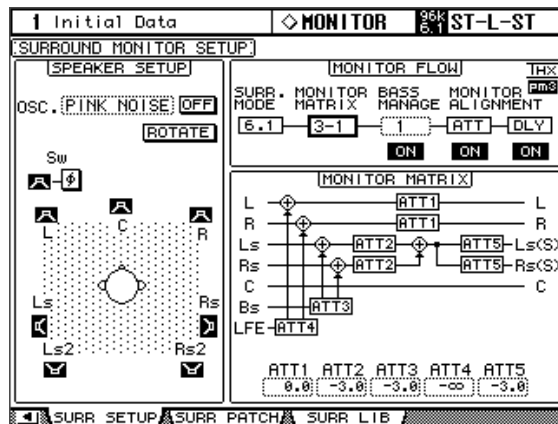
- サラウンドモニターに THX プリセットを追加 (162 ~ 164 ページ)

サラウンドモニター設定のベースマネージメントに、THX pm3 モニターシステム用のプリセットが追加されました。また、サラウンドモニター設定にいくつか補足がありますので、該当ページを以下のようにお読み替えください。

サラウンドモニターの設定

スピーカーのセットアップ、モニターマトリクス、ベースマネージメント、モニターアラインメント等のサラウンドモニター設定は、SURROUND MONITOR SETUP ページで行います。

- 1 MONITOR [DISPLAY] 併-で SURROUND MONITOR SETUP ページを表示します。



- 2 カーソルキーでパラメーターを選択し、パラメーターホイール、[INC] [DEC] 併-、[ENTER] キーで設定します。

SPEAKER SETUP: サラウンドモニタースピーカーの音量バランスを調整するパラメーターです。OSC(オシレーター)を選択し、PINK NOISE、500-2K(500Hz ~ 2kHz BPFのピンクノイズ)、1K(1kHzのサイン波)、50Hz(50Hzのサイン波)から選んで設定します。[ON][OFF]ボタンはオシレーターをオン/オフします。オンのとき、オシレーターは - 20dB の信号をアイコンが反転表示されているサラウンドチャンネルに出力します。オシレーターの出力はスピーカーごとにオン/オフできます。カーソルキーでスピーカーアイコンを選択します。LFEチャンネル信号の位相は[SW]フェーズボタンで反転できます。[ROTATE]ボタンがオンのとき、オシレーター信号は各スピーカーから右回りの順序で次々出力されます(5秒間隔で各3秒の信号を出力します)。

SURR. MODE: SURROUND MODE ページ(97ページ参照)で選択したサラウンドモードを表示します。

ノート: システムソフトウェア V2.1 より前の DM2000 で、サラウンドモードを 6.1、モニターマトリクスモードを 6.1 にしてモニターしていた場合、V2.1 では正しく再現できないことがあります。

MONITOR MATRIX: サラウンドモニターのマトリクスを選択します。

6.1 サラウンドモードでは、6.1、5.1、3-1、ST のいずれかのモードが選択できます。

5.1 サラウンドモードでは 5.1、3-1、ST のいずれかのモードが選択できます。

3-1 サラウンドモードでは、3-1 または ST を選択します。

ダウンミックスのモニターマトリクスを選択すると、ATT パラメーターで信号をアッテネートできます。

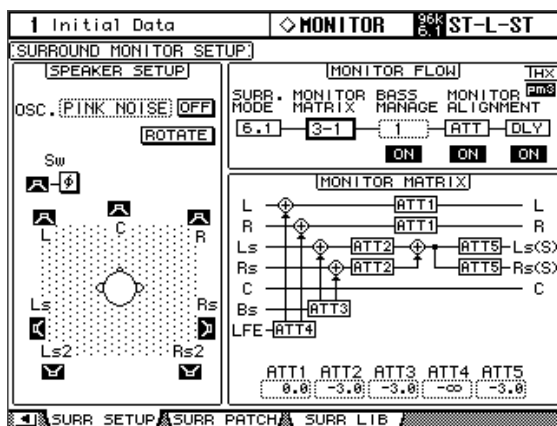
ステレオモードでもサラウンドモニターは使用できますが、モニターマトリクスは ST に固定されます。

ノート: モニターマトリクスモード = 3-1 を選んだ場合は、次の 3 つのアッテネーション量を同じ値に設定してください。

- ・ サラウンドモード = 3-1 の ATT1
- ・ サラウンドモード = 5.1 の ATT4
- ・ サラウンドモード = 6.1 の ATT5

これらの ATT はダウンミックスのためのアッテネーターではなく、Ls、Rs、Ls2、Rs2 のスピーカーの再生ボリュームを下げるためのモニター調整用のアッテネーターとして利用します。

たとえば、サラウンドモード = 6.1、モニターマトリクス = 3-1 を選んだ場合は、以下のような画面になります。



・ BASS MANAGEMENT(ベースマネージメント)

サラウンドモニターのチャンネルごとのフィルター/アッテネーターの設定を、用途や環境に応じて 8 種類のプリセットから選びます。選択可能なプリセットは、次のとおりです。

プリセット		パラメーター				
No.	タイトル	HPF1/2/3	LPF1	LPF2	ATT1/2	AMP
1	DVD LFE 80Hz	80-12	80-24	80-24	0	10
2	DVD LFE 120Hz	80-12	120-42	80-24	0	10
3	Movie LFE 80Hz	80-12	80-24	80-24	- 3	10
4	Movie LFE 120Hz	80-12	120-42	80-24	- 3	10
5	Bypass	THRU	THRU	MUTE	0	0
THXD	THX DVD	80-12L	120-42	80-24L	0	10
THXF	THX Movie	80-12L	120-42	80-24L	- 3	10
THXM	THX Music	80-12L	120-42	80-24L	0	10

ATT1: LR と LsRs 間のレベル差を調整します。
 ATT2: C と Bs 間のレベル差を調整します。

AMP:LFEチャンネルのレベルを補正します。

HPF1 ~ 3:各スピーカーの再生可能な周波数帯域がサブウーハーの信号と干渉しないように、低音域の信号をカットします。

LPF1~2:サブウーハーの再生可能周波数帯域が他のスピーカーと干渉しないように、必要に応じて高音域の信号をカットします。

ノート:

- ・ プリセット THXD/THXF を選択した場合、各パラメーターは固定されていて変更できません。
- ・ プリセット THXM を選択した場合、AMP は 10dB と 0dB に切り替えられますが、その他のパラメーターは固定されていて変更できません。

ベースマネージメントの各パラメーターの可変範囲は、次のとおりです。

パラメーター	範囲
HPF1/2/3	THRU, 80-12, 80-12L, 80-24, 80-24L
LPF1	THRU, 80-24, 80-24L, 120-42
LPF2	THRU, 80-24, 80-24L, MUTE
ATT1/2	0 ~ - 12dB
AMP	0 ~ + 12dB

HPF1/2/3, LPF1/2 の設定値は、カットオフ周波数 / カットオフ特性を表します。たとえば設定値 80-12 はカットオフ周波数 = 80Hz、カットオフ特性 = - 12dB を意味します。

“L”の付いた設定値はLinkwitzフィルター、それ以外の設定値はButterworthフィルターです。

各プリセットの解説

【1】DVD LFE80Hz

DVD-Video 制作に適したプリセットです。LFE の再生帯域は、~ 80Hz に設定されています。このプリセットを使用した場合でも、LFE のマスターソースには外部機器で LPF (fc=80Hz、- 24dB/oct) をかけておくことをおすすめします。

DVD-Audio や SACD などの音楽作品をモニターする場合は、LFE のレベル (AMP) や LPF (LPF1) を 0dB や THRU などに適宜変更してください。

また、DVD プレーヤーやデコーダーによっては、LFE の出力ゲインがあらかじめ +10dB に設定されている場合があります。そのような機器からの出力をモニターする場合には、LFE のレベル (AMP) を 0dB に変更してください。

【2】DVD LFE120Hz

DVD-Video 制作に適したプリセットです。LFE の再生帯域が ~ 120Hz に設定されている以外は、【1】と同じです。DVD-Video に記録される一般的な LFE 信号の上限周波数 (120Hz) までモニターしたい場合は、このプリセットをお使いください。

【3】Movie LFE80Hz

モニターマトリクスモードが 5.1 または 6.1 のときのサラウンドチャンネルの再生レベルが -3dB に設定されている以外は、【1】と同じです。映画制作に適したプリセットです。

このプリセットを使用した場合でも、LFE のマスターソースには外部機器で LPF (fc=80Hz、- 24dB/oct) をかけておくことをおすすめします。

【4】Movie LFE120Hz

モニターマトリクスモードが 5.1 または 6.1 のときのサラウンドチャンネルの再生レベルが -3dB に設定されている以外は、【2】と同じです。映画制作に適したプリセットです。

【5】Bypass

ベースマネージメントだけでなく、LFE のレベルおよび LPF、サラウンドチャンネルのレベルなどのすべての機能をバイパスしたいときにご使用ください。

ベースマネージメントだけをオフにしたい場合は、別のプリセットを選択してから、BASS MANAGEMENT の ON/OFF ボタンをオフにしてください。

THX プリセット

以下のプリセットは、THX™ 社に承認された THX pm3™ 認証スタジオ (* 用のプリセットです。これらのプリセットは、ベースマネージメントされたマルチチャンネルオーディオを正しく再生するための専用パラメーターからなり、サブウーハー-サテライト型のコンシューマーシステムと互換性を保つように設計されています。

* THX プリセットは、THX pm3 認証スタジオの明示を許可するものではありません。THX pm3 スタジオ認証プログラムは、最適な音響と映像を表現するために測定されたモニター環境を構築するためのプロセスと設計仕様からなります。詳しくは、THX pm3 のウェブサイトをご参照ください (<http://www.thxpm3.jp/>)

【THXD】 THX DVD

DVD-Video 制作のためのプリセットです。映画制作以外のオーディオコンテンツをミックス/モニターする場合にお使いください。各パラメーターの変更はできません。

【THXF】 THX Movie

映画のプリプロダクションのためのプリセットです。映画制作のためのコンテンツ(映画のプリミックスなど)をミックス/モニターする場合にお使いください。各パラメーターの変更はできません。

【THXM】 THX Music

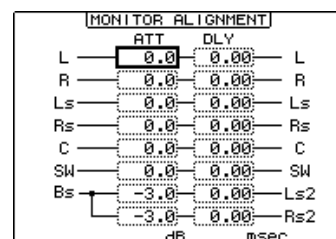
DVD 音楽制作のためのプリセットです。マルチチャンネルのオーディオコンテンツ(DVD-Audio や SACD を含む)をミックス/モニターする場合にお使いください。

LFE ゲイン(AMP)は、+10dB(デフォルト)と 0dB の 2 種類が選択できます。制作するメディアの規格に合わせて選択してください。また、DVD プレーヤーやレシーバー、デコーダーによっては、LFE 出力ゲインがあらかじめ +10dB に設定されている場合があります。

目的のモニター環境(ホームシアターなど)の LFE ゲインが 0dB に設定されている場合のみ、0dB に設定してください。それ以外の場合は、デフォルト設定でお使いください。

・ MONITOR ALIGNMENT ATT & DLY ON/OFF

サラウンドスピーカーすべてのモニターアラインメントのアッテネーター/ディレイパラメーターをオン/オフします。MONITOR ALIGNMENT の図とサラウンドチャンネルのアッテネーター/ディレイパラメーターは、どちらのボタンを選択しても表示され、必要に応じてサラウンドチャンネルをアッテネート、ディレイさせることによって、サラウンドモニタースピーカーを調整します。アッテネーターパラメーターは 0.1dB 単位で -、- 12dB ~ + 12dB の範囲で設定します。ディレイパラメーターは 0.02 ミリ秒ごとに 0 ~ 30 ミリ秒の範囲で設定します。



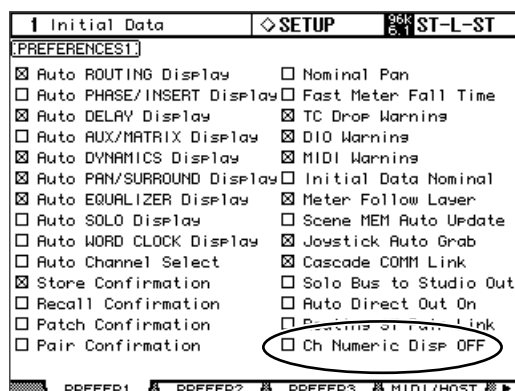
ノート:

- ・ 上記の設定は、モニターする信号に対してだけ有効だということにご注意ください。通常のバスアウトには影響しません。
- ・ サラウンドモード =6.1、モニターマトリクスモード =6.1 でモニターする場合は、他のモードの場合とは別に、上記の設定をする必要があります。

ヒント:ここで設定した内容は、サラウンドモニターライブラリーにストアできます。

□ チャンネルモジュールディスプレイのパラメーター値表示をキャンセル (276 ページ)

PREFERENCES1 ページに「Ch Numeric Disp OFF」プリファレンスが追加されました。V2.0 では各チャンネルのフェーダーやエンコーダー(パン設定)を操作するとチャンネルモジュールディスプレイがパラメーター値の表示に切り替わりましたが、このプリファレンスをオンにするとパラメーター値表示に切り替わらなくなります。



□ MY16-C カードに対応 (70、352 ページ)

CobraNet インターフェースカード MY16-C に対応しました。ただし DM2000 のスロットに装着する場合は、以下の制約があります。

- ・ 同時に使用できる MY16-C は 1 枚だけで、使用できるスロットは SLOT1 ~ 3 だけです。
- ・ オーディオ信号の送受信に対応していますが、制御信号には対応していません。

対応カードの最新情報、および他のカードと組み合わせると何枚まで挿入できるかは、ウェブサイトでご確認ください。

<http://proaudio.yamaha.co.jp>